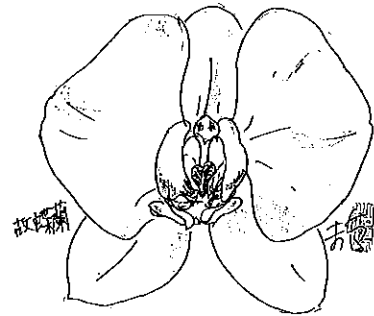


いよいよ・・・

コロナ第4波の影響が心配されましたが、何とか無事に市中体連球技・武道大会を迎えることができます。3年生にとっては最後の大会。気合も十分かと思えます。1・2年生も3年生を支え、中には主力として出場する生徒もいます。いよいよ大一番です。全ての部員が心一つにして、力を出しきってほしいと思えます。



ところで、何のために部活動をするのでしょうか。それはいたって簡単。自分の好きなことを楽しむためでしょう。そして、技術力を高め、相手に勝つためでしょう。また、体力や精神力を鍛えるためでもあるでしょう。礼儀やマナーを身に付けるためでもあるでしょう。当然、多くのことを学ぶためです。私が顧問をしていたときは、“バレーを学ばんじやない。バレーを通して何を学ぶかが大事”と話をしていました。最近よく言われるのが“人間力”。部活動はまさしくこの人間力を高める場だと思っています。しかし、残念なことに、競技力ばかりに目がいき、大切なことが身に付いていない、成長し切れていない、そんな生徒もいます。残念ながら「“自由”と“わがまま”を履き違えている。」そう感じてしまいます。武道の世界に“礼に始まり、礼に終わる”という言葉があります。仲間を大切にする。ルールを守る。指導者や親に畏敬の念(感謝の気持ち)を持つ。そういったことが勝負以上に大事です。そして、部活動を通して得たものが、授業にも今後の生活にも大きく役立ちます。中総体は、結果ばかりでなく“人間力の高まり”が問われる大会です。最後はやはり“周りへの感謝”。この言葉で締めくくれるよう精一杯頑張っ

てほしいと思えます。

無言清掃



本校は“無言清掃”を行っています。どんな清掃か、それは漢字通り。昼休みの終わりの時間に美化委員長が放送を流し、廊下に整列、黙想をしてチャイムとともに無言で清掃に取り組んでいます。無言清掃はもともと禅寺の修行として行われていたものです。“己と向き合い、嫌なことから逃げない心を養う”ということから、多くの学校で実施されています。また、“自問清掃”とも呼ばれています。清掃の時間を「自分と向き合い、自分の心を磨く時間」と捉え、自分と対話しながら、我慢する力、人を気遣う力、想像力などを育成する。このことをねらいとしています。以前、私の甥っ子がこう話していました。「掃除をしているとき、先生が『手は汚れるけど、心がきれいになるよね』と言っていた。なるほどなぁと思ったよ。」掃除は心を磨く時間でもあります。しっかり無言清掃に取り組み、和やかな環境をつくり、落ち着いた環境と心境で授業に臨んで欲しいと思えます。